

りく ぐん ぞう へい しょう かわ ごえ せい ぞう しょ
陸軍造兵廠川越製造所
 つう しょう か こう しょう
 (通称「火工廠」)



上福岡の中央にあたる地域、上野台団地から上野台小学校、福岡中学校や、大日本印刷までの敷地には、昭和12(1937)年から太平洋戦争の終戦の昭和20年まで陸軍造兵廠川越製造所と呼ばれた陸軍の弾薬工場がありました。

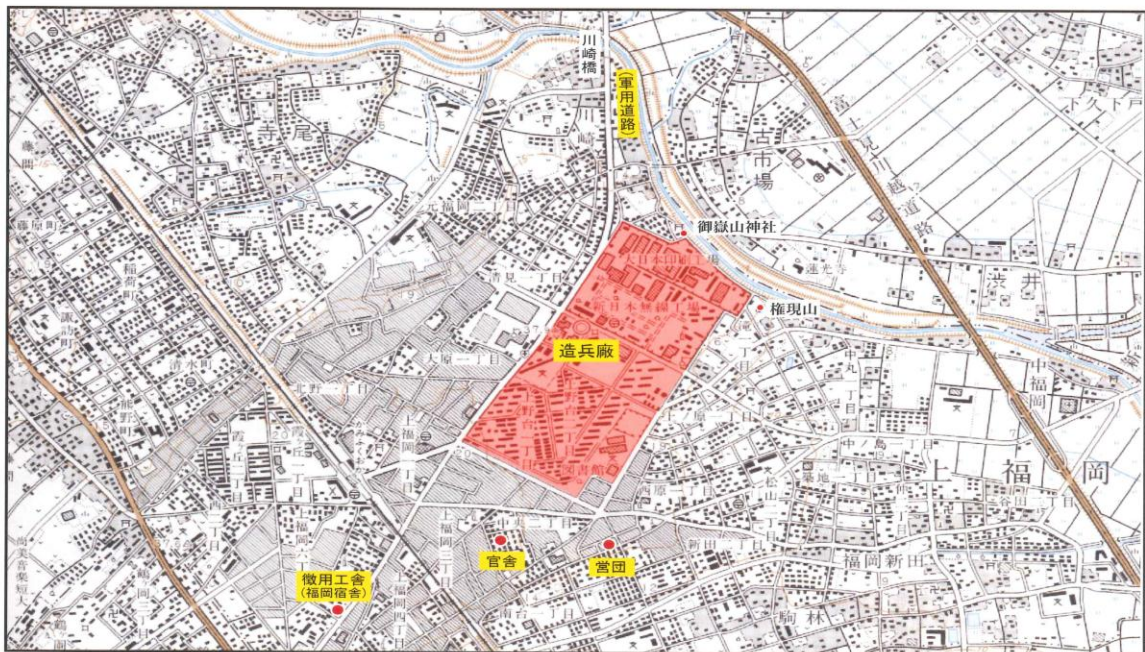
当初は「火工廠」と呼ばれ、東京の十条にあった陸軍工廠本部の施設拡張のために移転先として福岡村が選ばれ、昭和4年から5年にかけて用地買収が進められました。そのときの面積は約7万6千坪(約25万1千平方メートル)でした。

建設工事は昭和11年11月に開始され、翌年12月に開場式を迎えました。操業開始後も規模は拡大され、終戦時までには約16万5千坪(約55万平方メートル)になりました。建物の総数は大小合わせて最大で600棟以上、働いていた人は、川越中学校、福岡国民学校などからの学徒動員、女子挺身隊などの勤労働員された人たちも含めて最大で数千人にも及んだといわれています。

操業開始によって、多くの人々が福岡村に徒歩・自転車、そして東武東上線で通勤していました。また、「官舎」「営団」「徴用工舎」と呼ばれる従業員専用の住宅・宿舎も周辺に建てられ、昭和初期には2千人だった福岡村の人口は終戦時には7千人を超えていました。

●陸軍造兵廠川越製造所は時期によって、次のように正式名称が変更されました。

- ①陸軍造兵廠東京工廠福岡派出所(昭和11年9月～12年10月 ※操業開始以前)
- ②陸軍造兵廠東京工廠火具製造所福岡工場(昭和12年11月～15年3月)
- ③東京第一陸軍造兵廠第三製造所福岡工場(昭和15年4月～17年7月)
- ④東京第一陸軍造兵廠川越製造所(昭和17年8月～20年8月)



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号 平15開複製、第339号)